

平成 25 年度第3回油化学セミナー

「若手研究者による油脂、界面の最前線」

～関東支部 第1回若手研究者奨励賞記念講演会～

日本油化学会関東支部では、若手研究者の育成を目的として、今年度、日本油化学会第 52 回年会において若手研究者による秀逸で将来性のある研究を発掘して若手研究者奨励賞を授与することと致しました。また、この度、第3回油化学セミナーにおきまして、受賞した若手研究者による講演会を開催する運びとなりました。関東支部の先生方におかれましては、未来に羽ばたく若手研究者のご講演を是非、ご拝聴下さい。なお、各講演の終わりに表彰状を授与致します。

日時:平成 25 年 12 月 13 日(金)13:00～17:25

場所:油脂工業会館9階大会議室(〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目13番11号)

主催:(公益社団法人)日本油化学会関東支部

<演題>

13:00～13:10 開会の辞・講評

13:10～14:10

●独立行政法人 産業技術総合研究所 平 敏彰氏

タイトル:金属配位型界面活性剤(メタロサーファクタント)の設計と機能

—水中触媒反応への応用を目指して—

金属イオンが配位結合を介して分子骨格に組み込まれた界面活性剤『メタロサーファクタント(MS)』について、その自己集積挙動に基づく新しい化学反応性や、水中における特異な新機能について紹介する。

14:10～15:10

●ライオン株式会社 松木 麻依子氏

タイトル:分子会合体の状態解析とその応用—ビタミン A 高吸着性点眼剤の開発—

ビタミンと非イオン活性剤からなるエマルジョンの構造を、小角 X 線散乱等を用いて詳細に解析し、得られた知見を用いて生体界面に対する吸着性を大きく向上させた点眼剤用ナノエマルジョンを開発した。

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20

●東北大学大学院農学研究科 宮澤 大樹氏

タイトル:食品成分による認知症予防への基礎的取り組み

認知症者の赤血球膜には過酸化リン脂質が蓄積し、この膜脂質の主抗酸化物質であるキサントフィルは健常者より低濃度である。私達が進めている食品成分による認知症の予防と進行抑制の研究について、ヒト介入試験を含めた現在までの知見と、今後の展開を発表する。

16:20～17:20

●月島食品工業株式会社 永井 利治氏

タイトル:ここまで分けられる!

～トリアシルグリセロール位置異性体および鏡像異性体分析法と油脂分析への応用

HPLC によるトリアシルグリセロール(TAG)分子種分析における種々の分離モードの特徴について、また、近年開発した TAG 位置異性体、鏡像異性体の分離法とその意義について、油脂分析への応用例を交えて解説する。

17:20～17:25 閉会の辞

18:00～ 懇親会(会費 3,000 円)

参加費(テキスト代を含む): 当日受付にてお支払いください。

日本油化学会個人会員・法人会員勤務者: 4,000 円, 協賛学会・協会個人会員: 4,000 円,

一般: 6,000 円, 学生: 1,000 円

申込方法: ①氏名, ②所属, ③連絡先(住所, 電話番号, E-mail), ④会員資格(会員番号), ⑤懇親会への参加の有無を明記の上, E-mail または Fax で下記あてにお申し込み下さい。

申込締切: 平成 25 年 11 月 29 日(金)

申 込 先: 〒224-8558 神奈川県横浜市都筑区早渕 2-2-1

資生堂リサーチセンター新横浜 化粧品基盤センター 宮原 令二

E-mail: reiji.miyahara@to.shiseido.co.jp

Tel: 045-590-6054(ext.4736) / Fax: 045-590-6099